

第4種 ウトロ漁港 (北海道斜里町)

ウトロ

ウトロ地区特定漁港漁場整備事業計画

網走東部
第1圏域
流通拠点



ウトロ地域マリンビジョン策定(モデル地域)

現状と課題

・ウトロ地区と斜里町市街地を結ぶ幹線道路は国道334号のみであり、大規模災害により陸路が遮断された場合、集落の孤立化解消や、大規模地震・津波発生後における漁業活動の早期再開対策が求められている。
・荒天時には越波等により港内が擾乱し、危険な陸揚げ・準備作業を強いられているとともに、荷さばき用地等の浸水、漁具の流出・損傷被害が発生している。

港勢 (H29港勢調査)

登録漁船: 77隻
利用漁船: 117隻
(内、外来漁船: 38隻)
属地陸揚量: 7,474トン
属地陸揚金額: 74.0億円
主な魚種: サケ類、カラフトマス
組合員数: 172人

◎ウトロ漁港の役割

- ・サケ・マス定置網漁業を中心とした沿岸漁業の流通拠点
- ・周辺海域で操業する漁船の避難拠点

主要対策



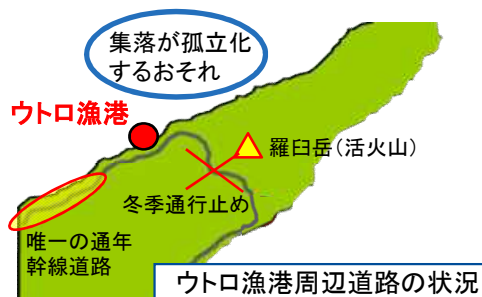
主な整備方針

・大規模災害発生後の緊急物資輸送機能及び漁業活動の早期再開を実現するため、耐震強化岸壁の整備を行うとともに、岸壁に接続する道路・用地の液状化対策を行う。
・荒天時における越波防止や港内静穏度を確保するため、防波堤の延伸及び嵩上げ改良を行う。
・第2港区の陸揚げ・準備作業エリア間の円滑な移動経路を確保するため、ふ頭間に道路(橋梁)を整備する。

基本事項

全体事業費: 62.7億円
事業期間: H29~R5

主要な対策①: 防災対策



主要な対策②: 静穏度対策

